

## 「強み」をルールに。 規格提案で市場をリードする。

### 【背景と目的】

「食料・農業・農村基本計画」(令和 7 年 4 月 11 日閣議決定)で設定された 2030 年までに農林水産物・食品の輸出額を 5 兆円とする目標の実現に向け、日本の事業者にとって有利な市場環境を構築するためには、国家規格である JAS(日本農林規格)の活用に加えて、国際規格である ISO での標準化(ISO 規格の制定や改訂への積極的関与)が有効な手段の一つとして考えられます。

本研修では、“規格は与えられるものではなく、自らの強みを表現できるものである”という観点に立ち、規格は積極的に制定・改正(改訂)を提案していくべきものであると説き、やがて、“我が国産品や自社製品等の強みを活かし、どのような価値を市場に提供・保証したいか”という事業戦略に関わる重要な問いに回答できる人材を育てることを目的としたものです。

### 【概要】

規格とは何か、規格はどのように役立つのか、信頼性を付与するとはどういうことか、といった基礎知識をはじめ、規格内容はどのように考えて組み立てればよいのか、といった実践的な内容までを含む研修です。

さらに、希望者には、自社製品等についての自身の提案はもちろんのこと、他国提案への一般的な対処方法についても、講師等に個別にご相談いただくことができます。

本研修を通じて、自社や我が国産品の強みをルール(規格)に昇華する力を養いましょう！



**【内容】**

本研修は、事前課題と 3 日間連続開催の対面研修等を通じて、規格がもつ力や、規格の活用方法を理解し、実際に規格づくり(構成等)を疑似体験するプログラムとなっています。

詳細は次ページをご覧ください。

※ 3日間の対面研修は連続した内容となるため、3日間とも同じ方に御参加いただくことを前提としています。

**【参加費】**

無料

**【募集人数】**

16名程度

**【持ち物】**

各自 PC をご持参ください。

**【開催日】**

2026年1月14日(水)～16日(金)  
(各日の開催時間は次ページをご覧ください。)

**【開催場所】**

外部会議室(田町駅、品川駅、浜松町駅のいずれか)

## 【プログラム】

日付	種別	内容
(提出期限: 研修の 2 ～3 週間前を想定。後 日連絡します。)	事前課題	<p>&lt;提案内容を考える&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自、国際規格として提案したい内容を検討(想定で可)。</li> </ul> <p>(見本を参考に、規格に盛り込みたい内容を記述。)</p> <p>(お申しいただいた方へ、順次、見本等をお送りします。)</p>
<u>1日目</u> <u>2026年1月14日</u> <u>(水)</u> <u>13:00-17:00</u> <u>(予定)</u>	座学 (対面)	<p>&lt;ご挨拶&gt;</p> <p>農林水産省 挨拶 趣旨説明(事務局) 名刺交換会</p> <p>&lt;★第1ステップ: 規格とは&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格づくりの目的</li> <li>・ISO 規格開発の仕組み</li> <li>・食品業界における規格</li> <li>・JAS 制度の仕組み</li> <li>・事前課題の共有・講評</li> </ul>
<u>2日目</u> <u>2026年1月15日</u> <u>(木)</u> <u>10:00-17:00</u> <u>(予定)</u>	座学 (対面)	<p>&lt;★第2ステップ: 信頼性を付与するということ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適合性評価とは</li> <li>・製品にマークをつけるということ</li> <li>・プライベート認証とは</li> <li>・認定とは</li> </ul> <p>&lt;グループ分け発表&amp;移動&gt;</p> <p>・翌日のグループワークに向けた説明・課題発表</p>
	(お昼休憩)	
	座学&演習 (対面)	<p>&lt;★第3ステップ: 規格の種類&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適合性評価以外の選択肢</li> <li>・規格の種類</li> </ul>
		<p>&lt;コーヒープレイク&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望者には提案内容への個別アドバイス・相談</li> </ul>
		<p>&lt;★第4ステップ: 規格を書いてみよう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格の書き方</li> <li>・スケルトンの作成</li> </ul>
	宿題	・スケルトンの作成(完成)
<u>3日目</u> <u>2026年1月16日</u> <u>(金)</u> <u>09:30-12:00</u> <u>(予定)</u>	演習 (対面)	<p>&lt;グループワーク&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表</li> <li>・グループ内で深掘するスケルトンテーマの選定→より深く検討</li> <li>・発表</li> <li>・講評</li> </ul> <p>&lt;ご挨拶&gt;</p> <p>&lt;アンケート回答&gt;</p>

・プログラムの内容は進行の都合等により若干変更となることがあります。予めご了承ください。

### 【お申し込み】

本研修の事務局は、農林水産省からの委託先である一般財団法人日本規格協会（JSA）にて運営しています。次の URL からお申し込みください。

URL: <https://forms.gle/sLd67kjhaE29ZKoB6>



本事業は農林水産省による委託事業のため、  
農林水産分野の方のご受講を優先的に受け付けております。  
そのため、本チラシをご覧になった方（JSA 経由）で本研修にご興味のある方は、  
お手数ですが、一旦、下記の研修事務局宛てにメールにてご相談ください。

（上記フォームへの入力難しい場合は、下記事務局まで次の事項をメールにてご連絡ください。

①メールアドレス ②氏名 ③フリガナ ④TEL ⑤所属組織 ⑥所属部門 ⑦役職  
⑧事務局への連絡事項等（必要な場合）

### 【個人情報取扱方針】

JSA の個人情報の取扱い方針については下記 URL をご覧ください。

また、収集した個人情報は、本研修事業運営のため農林水産省、JSA、講師にて共有させていただくとともに、今後の農林水産省事業のご相談等をさせていただくことがありますので、どうかご了承ください。

URL: <https://www.jsa.or.jp/other/privacy/>

### 【組織名・氏名・メールアドレスの共有】

本研修では、グループワークを実施するため、組織名・氏名・メールアドレスを、講師陣及び受講者間でも共有していただきます。共有可能なメールアドレスのご用意をお願いいたします。

（原則として、本研修のお申込みの際にいただいたメールアドレスを共有してください。）

### 【お問い合わせ先・研修事務局】

一般財団法人日本規格協会

スタンダード・コンサルティングセンター 農林規格開発チーム

担当：木滑（きなめり）

E-mail: [jas@jsa.or.jp](mailto:jas@jsa.or.jp)

TEL: 050-1742-6025（チーム）

以 上